



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

40号

令和7年3月8日

地域医療誌・座談会

「地域医療」63巻3号に掲載される「次世代を担う国診協若手の会歯科がスタート」と題して座談会がWebで開催されました。写真下段中央は、医科の若手の会前代表の岐阜県の廣瀬先生、上段中央は、気分だけ若手の筆者で司会進行を務めました。コロナ禍でWebでの会議などが定着したとはいえ直接会って話が出来ないことに未だ難しさを感じていますが若手の先生方は、対応能力が素晴らしく順応されています。写真の両端の4名の先生方が若手の有望株の先生方です。離島であったり、中山間地域であったりと場所は違えどそれぞれの若手の先生方は、当院が置かれている地域の状況と同じような状況で日常臨床だけでなく地域歯科保健活動など日夜頑張っています。



口腔がん ~その2~



(舌癌 術前)



(舌癌 術後)

東京歯科大学市川総合病院ホームページより

口腔がんの治療は、手術療法、化学療法そして放射線療法があります。進行の程度や癌の大きさなどにより治療法の組み合わせが選択されます。例えば、早期癌であれば手術が選択されます。手術の場合、癌が目に見えているところだけ取るのではなく、完全に取りきるには周囲の組織も切除する必要があります。というのも、癌は目に見えているところだけでなく細胞レベルで広がっていることが特徴です。時には首のリンパ節にも進行していることがありますので首のリンパ節を切除することもあります。“くち”の手術の後は、欠損部の状態により“くち”の機能が低下することが多くあります。そのため、食事することや会話をすることの機能を回復するための摂食・嚥下リハビリを行ったり、食事の形態のサポートを行ったりします。

もし、困りごとがあれば歯科に相談してください。

文責 診療部長 占部秀徳